

第295号

令和4年1月発行

発行人 福本陽平
霜仁会事務局 TEL:0836-22-2029
FAX:0836-31-7586
E-mail:jimu@soujinkai.jp
HP:http://soujinkai.jp/
印刷所 瞬報社オフリン印刷(株)

山口大学医学部

霜仁会会報

新春を迎えて

霜仁会会長

福本陽平



新年明けましておめでと
うございます。霜仁会会員
の皆様には、日々ご健勝
で、診療などに従事されて
いることと、お慶び申し上
げます。

昨年を振り返りますと、
先ず前年から続く新型コロナ
ウイルスの感染対策に始
めた一年のように思われ
ます。昨年の正月早々、我
が国ではこのウイルスの感
染拡大のため、1月7日に
令和2年の4月に続いて、
2度目の緊急事態宣言が関
東地方1都3県に発令さ
れ、午後8時以降の住民の
外出と飲食店の営業の自粛
が求められました。

令和元年12月末、中国武
漢市で原因不明の肺炎患者
が発生して以来、この新型
コロナウイルス感染症は中
国から全世界へと爆発的に
拡大し、令和2年3月、世

界保健機関WHOはパンデ
ミックと認定しました。令
和2年末には世界中の累計
感染者数は7千500万人
(死者数160万人超)と
なりました。また、米国で
はこの年の感染者数が1千
700万人(死者数30万人
超)で世界最多となり、10
月にはトランプ大統領も新
型コロナウイルスに感染し
ました。

特に欧州、米国、ブラジ
ル、インドなどの国々で、
感染者数と死者数が増大し
ましたが、我が国では、ま
ず東京都、大阪府、愛知
県、北海道などの大都市を
中心に感染者が急増し、そ
の後、しだいに全国的へと
拡散しました。令和3年1
月末には、世界の累計感染
者数は約1億30万人(死者
数約216万人)で、一
方、我が国の累計感染者数
は約37万1千人(死者数約
5千人)でした。これは、
欧米諸国に比べて圧倒的に
少ない数でした(令和3年
9月現在)。

令和3年2月、米製薬大
手のファイザーとドイツの
企業ビオンテックがこの新
型コロナウイルスのワクチ
ン開発に成功し、我が国の
厚生労働省は直ちにこのワ
クチンの製造販売の特別承
認を行い、医療従事者への
先行接種を始めました。さ
らに4月からは65歳以上の
高齢者へのワクチン接種が
開始され、その後、漸次各
年齢層の希望者への接種が
続けられています。

令和3年3月、1都3県
の緊急事態宣言は2度の延
長を経て、一旦全面解除さ
れましたが、同年4月、強
い毒性を持つ変異株とみら
れる新型コロナウイルス感
染が広まり、国内での死者
数が1万人を超えました。
世代別には60歳以上の人が
95%を占めました。そこ
で、4月に19都道府県に再
び緊急事態宣言を、他の8
県にまん延防止等重点措置
を発令しました。

その後、緊急事態宣言解
除の目標基準値として、ま
ん延地域での「医療ひっ迫
状況」が追加されました。
令和3年9月には当該地域
での新規患者数が減少しは
じめ、病床使用率が宣言発
令の目安の基準値以下とな
ったため、宣言ならびに重
点措置は9月30日をもって

解除されました。これで、
1年以上続いた酒類を提供
する飲食店やイベント開催
に要請されていた一定の制
限は、段階的に緩和される
ことになり、ようやくこれ
までの日常生活への復帰
に、踏み出せる状況になり
ました。

このパンデミックを抑え
込むために、世界中で人の
動きを止める施策が取られ、
「感染抑制か経済か」とい
う二者択一の議論が提起さ
れました。このコロナ禍で
1年延期された東京オリム
ピックも、どうにか令和3
年7月23日から8月8日に
東京国立競技場を中心に、
異例の無観客で開催されま
した。しかし、6月下旬か
ら始まった新型コロナによ
る第5波は、8月中旬に国
内では過去最大となる2万
6千人の新規感染者数を記
録しました。ところが幸い
なことに、患者発生数は9
月から10月にかけて急速に
減少し、東京での発生数は
一日当たり1000人台で
推移していたのが、10月中
旬には60人となりました。
その後もワクチン接種は続
けられており、このまま、
新型コロナウイルス感染が
収束することを願っていま
す。ちなみに、このコロナ

禍で提起された「命か経済
か」の命題は、経済学者の
間でも「解がない」とこの
とです。
本年の皆様方のご活躍と
ご多幸をお祈り致します。



理事會報

第4回理事会

令和3年10月15日(金)

19時より霜仁会医学交流会館3階会議室において25名の出席のもと開催された。

【報告事項】

1. 7月16日(金)

編集委員会 (奥屋)

2. 10月15日(金)

医学部解剖献体者慰霊祭 (福本)

【審議事項】

1. 霜仁会及び霜仁会検査センターの中間決算報告が行われ、承認された。

(白澤)

2. 霜仁会年会費免除申請について、申請の会員が規程資格に合致するため免除することが承認された。(福田)

第5回理事会

令和3年11月19日(金)

19時より霜仁会医学交流会館3階会議室において22名の出席のもと開催された。

【報告事項】

1. 10月15日(金)

編集委員会 (奥屋)

【審議事項】

1. 理事、監事及び代議員選出までの今後の日程について審議し、原案どおり日程が承認された。(白澤)

(白澤)

就任のご挨拶

新任教授

山口大学大学院医学系研究科分子細胞生理学講座(旧生理学第一講座)

教授 宮本達雄



平成19(2007)年3月に博士(医学)の学位を取得しました。

大学院修了後、日本学術振興会特別研究員PDを経て、平成20(2000)年8月より、松浦伸也教授(山口大学医学部S60卒)が主宰する広島大学原爆放射線医学研究所放射線ゲノム疾患研究分野助教に着任し、その後、平成25(2013)年12月に講師、平成30(2018)年12月に准教授へと昇任させていただきました。

この間に、私の間は、ゲノム配列と疾患との「相関」関係を診るゲノム解読技術(順遺伝学)に加えて、「因果」関係を検証するためにヒト細胞や疾患モデル動物に自在に変異を導入するゲノム編集技術(逆遺伝学)を併用する、新たな人類遺伝学研究手法を開発して、7遺伝性疾患の病因・病態機構を明らかにしました。例えば、梶井

令和3年度霜仁会年会費納入のお願い

年会費：10,000円

※年会費のお振込がお済みでない方に振込用紙を同封いたしましたので、お振り込みいただきますようよろしくお願いいたします。

私は、昭和53(1978)年に山口県長門市仙崎に生まれ、山口県立大津高等学校(現在、大津緑洋高校)を卒業しました。平成13(2001)年3月に広島大学理学部生物科学科を卒業した後、京都大学大学院医学研究科分子細胞情報学講座(医化学第二講座)の月田承一郎教授(故人)に師事して、ミエリン鞘に発達するタイトジャンクションが跳躍伝導を保證する生理機能の解明に取り組み、

\* 2022年 \*

霜仁会總會のお知らせ

日時：2022年5月15日(日)

総会 13時30分より

場所：ANAクラウンプラザホテル宇部3階

山口県宇部市相生8-1

TEL (0836) 32-1112

正山口大学名誉教授(故人)が発見された染色分体早期解離症候群が、分裂期チェックポイント分子の転写障害病であることを実証しました。最近では、松浦教授と塚原正人山口大学教授(故人)が共同研究をされていた家族性コレステロール欠乏症を端緒として、コレステロールによる一次繊維毛(血球系以外のほぼ全ての細胞の表面に発達するセンサー)の制御機構の解明と動脈硬化などを標的とした創薬研究を展開しています。このように、私の研究は、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますように、何卒、よろしくお願い申し上げます。



# 学内報告

## 「第4回 県知事激励会」

### 開催のご報告

山口大学医学部附属病院 医療人育成センター

宮崎 睦子

令和3年9月29日に、山口大学医学部医学科1年の特別枠（地域医療再生枠・緊急医師確保対策枠）入学学生を対象として、山口県知事激励会を行いました。

県民の皆様へ将来山口県の地域医療へ貢献するという決意を表明し、県知事との対話や病院見学を通じて地域医療マインドを醸成することを目的としています。直前まで日本各地が新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下であり、山口県内もデルタ株感染拡大防止集中対策期間であったため、本会の開催も危ぶまれました。しかし学生の熱い思いが届いたのか、病院見学は叶わなかったものの、県知事激励会は無事開催することができました。

開会后、篠田医学部長の挨拶に続き、本学医学科1年の兼崎舜さん、藤井千聡さんからの「決意表明」が



## 第9回 山口大学

### ホームカミングデー

山口大学理事・副学長（総務企画担当）

谷澤 幸生



今年も恒例の第9回ホームカミングデー「@HOME COMING DAY 2021」が10月30日（土）に開催されました。当日のライブ配信と、on demandでの動画配信が行われています（<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/alumni/hcd/2021.html>）。

ホームカミングデーは、卒業生には母校をなつかしみ、一般の方には本学についてより広く知っていただく機会として、平成25年度から開催しています。コロナ禍のために昨年は完全WEB開催になりましたが、今年はいブリッド方式で、安部司先生（本学文学部化学科卒）に『超加工食品をひも解く〜摂り過ぎ3兄弟〜』のタイトルで特別講演を対面とライブ配信にて行っていただきました。（写真）

医学部からも医学部長・医学科長、保健学科長からの「卒業生へのメッセージ」のほか、附属病院紹介、小串キャンパスフォトギャラリーなど多くのコンテンツがon demandで前述のサイトで現在も公開中ですので、是非、一度ご覧ください。（大学ホームページからも簡単にアクセスできます。）

# 令和2年度

## 山口大学医学会 小西賞

「No Muscle Depletion with High Visceral Fat as a Novel Beneficial Biomarker of Sorafenib for Hepatocellular Carcinoma」

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学



佐伯一成 (平16年卒)

この度は、栄えある令和2年度山口大学医学会小西賞にご選出いただき大変光栄に存じます。山口大学医学会の先生方を始め、査読や選考に携わっていただいた全ての方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

私は平成16年に山口大学を卒業し、坂井田功先生が主宰されていた消化器内科学講座へ入局しました。大学院の研究テーマより肝癌研究に従事して現在に至ります。肝癌は慢性肝疾患を背景として発症することから、治療には腫瘍因子のみではなく背景肝機能の因子を考慮しなくてはなりません。腫瘍制御とともに肝機能の温存という緻密なケアが必要な点に魅力を感じ研

# 令和2年度

## 山口大学医学会 中村賞

「PDZRN3 protects against apoptosis in myoblasts by maintaining cyclin A2 expression」

山口大学大学院医学系研究科 薬理学



本田健 (九州大学理学部 平11年卒)

この度は、名譽ある山口大学医学会中村賞を賜り、大変光栄に存じます。山口大学医学会会長の篠田晃先生、選考委員の先生方をはじめ、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

最後に、本研究を当初よりご指導・ご鞭撻をいただきました坂井田功先生(前山口大学大学院医学系研究科消化器内科学教授、山口大学名誉教授)、高見太郎先生(山口大学大学院医学系研究科消化器内科学教授)、ならびに山崎隆弘先生(山口大学大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学教授)に深謝申し上げます。

では、筋芽細胞分化の必須因子として解析してまいりましたPDZRN3が、分化時のDNA鎖切断におけるメチル化抑制に関与することを報告しております。

この度は、名譽ある山口大学医学会中村賞を賜り、大変光栄に存じます。山口大学医学会会長の篠田晃先生、選考委員の先生方をはじめ、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

私が国は世界に類を見ない超高齢社会を迎えており、健康寿命の延伸を見据えた対策が急務となっております。近年、骨格筋は健康のバロメーターとして注目されていますが、加齢に伴う骨格筋の量的、質的低下(一次性サルコペニア)は、高齢者の要介護化を促す危険因子であり、また高い有病率からも大きな問題となっております。サルコペニアの発症には複数の因子が関与しますが、細胞自律



## 教室紹介

### 放射線腫瘍学講座

当講座は平成22年(2010年)4月に放射線治療学分野として設置されたことに端を発し、同時に附属病院には放射線治療部が設置されました。さらに平成25年(2013年)2月には附属病院に放射線治療科が立ち上がりました。その後平成28年(2016年)4月に医学系研究科改組に伴い名称が放射線腫瘍学講座となりました。平成23年(2011年)10月より初代教授を務められた澁谷景子先生より引継ぎ、令和元年(2019年)5月より現職の私、田中秀和が2代目教授を拝命しております。

我々はがん診療における三本柱の一つとされる放射線治療を担当しております。主にリニアックと呼ばれる機器を用いて治療にあたりますが、近年のテクノロジーの進歩の恩恵を受け、かつては放射線治療での根治が期待できなかった疾患でも、根治を望めるようになったものもあります。根治的な治療のみならず、術前照射にてダウン

ステージや臓器温存率の向上に寄与したり、術後照射にて再発率の低下に貢献したり、進行例に対しては症状緩和や症状出現の予防など、放射線治療の有用性が発揮される場面は多岐に亘ります。欧米ではがん患者の6割が放射線治療を受けるとされていますが、本邦の調査ではおよそ3割程度にすぎません。山口県のデータから試算すると県内における放射線治療の実施割合はおよそ2割程度と推定され、まだまだ潜在的な放射線治療の適応患者が眠っていると考えられ、我々の力不足が原因と認識しています。将来的には県内のがん患者さんが必要なタイミングで放射線治療にうまく結びつけられるよう今後も努力していきたいと思えます。放射線治療を受ける患者さんのほとんどが悪性腫瘍ですが、一部の良性腫瘍にも適応があります。かつては放射線治療が行われていなかった疾患でも放射線

治療の有用性が報告されるようになり、さらに適応疾患が拡大してきています。放射線治療はその侵襲性の低さから、超高齢化社会においてますます需要が高まると予想しています。当科では3台のリニアックと1台の密封小線源治療装置を保有しています。特色のある機器としてはバリアン社製のリニアック(True Beam)に島津製作所の動体追跡システム(Sync Trax)を組み合わせたシステムがあげられます。このシステムは2015年に世界で初めて当院で稼働しました。呼吸により動く腫瘍をピンポイントで迎え撃つ、動体追跡(迎撃)照射が可能で、主に肺や肝臓の比較的小さな腫瘍に用いています。有害事象を軽減することが可能となるため、この治療を求めて他の放射線治療施設からも紹介いただいています。山口大学は動体追跡照射の分野では国内をリードするパイオニアです。今後この分野には引き続き注力し、当講座の伝統として受け継いでいきたいと思っています。また当院のリニアックの1台は老朽化が深刻なため、近い将来更新を予定しています。

当講座はまだ非常に小さな教室で私のほかに、5名の教室員がおります。3名が医師、2名が診療放射線技師・医学物理士です。3名の医師のうち2名が放射線科専門医を有しており、来年度にはサブスペシヤリテイの放射線治療専門医を取得予定です。2名の診療放射線技師とともに医学物理士の資格も有しています。原稿執筆時点では附属病院の放射線治療部もあわせて山口大学には計4名の医学物理士(1名は試験に合格し物理士としての登録は未)が在籍しています。

研究面に関して、恥ずかしながらこれまでにはマンパワー不足のため十分な臨床研究が行えていませんでした。私が着任後は少しずつではありますが研究にも着手しています。主に当講座の特色である動体追跡照射に関して、さらなる成績向上を目指して予後因子の解析や照射精度の向上に関する研究を行っています。基礎的な研究としては放射線物理の研究を医学物理士2名が中心となり行っています。主に動体追跡照射における呼吸性移動に関する研究と各種画像解析による放射線治療の高精度化・最適



化に関する研究を行っており、国際的にも評価されています。放射線生物学に関しては、これまで当講座には生物実験設備がなく、実施ができていませんでしたが、現在、生物実験が可能な実験室を整備中です。2人に1人以上が癌になる時代、癌治療は日本国民にとって大変重要な問題です。かつてない超高齢化社会を迎え侵襲性の低い放射線治療の重要性はますます高まります。我々は山口県民の癌治療に少しでも貢献できるよう、臨床はもちろん研究や教育にも力を入れて引き続き取り組んで参ります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。(教授 田中秀和)

# 病院紹介

独立行政法人国立病院機構

## 関門医療センター



病院長  
林 弘人 先生

ひろと 先生



この度は霜仁会会報に病院紹介をさせていただく機会を賜りまして、誠に有難うございます。当センターは、1891年（明治24年）2月1日に赤間関病院として下関要塞砲兵第4連隊内に創設されました。1945年（昭和20年）に厚生省に移管され国立下関病院と改称、2000年（平成12年）には、旧国立山口病院と下関市後田町にて統合、2004年（平成16年）の独立行政法人化を機に、現在の「関門医療センター」になりました。2009年（平成21年）4月に、嘗て

長門国の国府が置かれ、近代に至って明治維新の幕開けを奏でた歴史の街、下関市長府に移転しました。地上7階建ての免震構造で大規模ヘリポートも付設しており、災害拠点病院としても万全の体制を備えております。関門海峡を行き交う大型の船舶、朝日を浴びて波間に揺蕩う小舟、病室から見える景色は、あたかも印象派の絵のように入院されている患者さんや私ども職員の心を癒してくれます。

医療法許可病床は400床、標榜科目は内科、外科、消化器内科、整形外科、救急科など34診療科で、2005年（平成17年）に下関及び長門医療圏第三次救急医療を担う救命救急センターに指定されました。診療科の多くは山口大学の医局からの関連医師で占められています。令和3年10月1日現在、内科・総合診療科（佐藤稜先生（S58卒）、田崎彩子先生（H19卒））、糖尿病・血液内科（鶴政俊先生（H4卒）、松井久未子先生（H15卒）、徳永舞子先生（H24卒））、脳神経内科（田中新一郎先生（H6卒）、尾本雅俊先生（H10卒））、消化器内科

（柳井秀雄先生（S58卒）、戒能聖治先生（H6卒）、坂口栄樹先生（H8卒）、原野恵先生（H14卒）、西山夏子先生（H30卒）、循環器内科（古谷雄司先生（S57卒）、大谷望先生（S60卒）、早野智子先生（H5卒）、精神科（若林祐介先生（H14卒）、小児科（牧隆司先生（S62卒）、外科（林弘人（S58卒）、吉野茂文先生（S61卒）、矢原昇先生（H5卒）、長島由紀子先生（H9卒）、坂本和彦先生（H9卒）、近藤潤也先生（H13卒）、北原正博先生（H17卒）、濱崎太郎先生（H29卒）、堤甲輔先生（H29卒）、整形外科（伊原公一郎先生（S56卒）、峯孝友先生（S60卒）、篠原道雄先生（H7卒）、栗山龍太郎先生（H8卒）、富永康弘先生（H14卒）、脳神経外科（山下勝弘先生（S57卒）、心臓血管外科（村上雅憲先生（H12卒）、泌尿器科（鄭泰秀先生（H3卒）、徳永貴範先生（H26卒）、産婦人科（林公一先生（S57卒）、耳鼻咽喉科（村上直子先生（H9卒）、田原晋作先生（H20卒）、リハビリテーション科（河村洋行先生（H

2卒）、放射線診断科（河村光俊先生（H1卒）、岡田宗正先生（H7卒）、佃利信先生（H9卒）、病理診断科（村田建一郎先生（S61卒）、歯科口腔外科（板敷康隆先生（H19卒）、麻酔科（内本亮吾先生（S56卒）、田和聖子先生（H1卒）、藤田文彦先生（H5卒））らが、山口大学医局からの派遣または山口大学卒業医師です。それぞれの専門分野はもちろん地域医療を支え日夜診療・研究・教育に励んでおります。

当センターは、「患者さん本位の医療」の実現に職員一丸となって努力してまいりました。患者さんが生活する場所『地域』にしっかりと根をおろした患者さん本位の病院創りを進め、また地域の急性期病院、地域医療支援病院として、地域の医療関係者、行政と一体になって良質な医療サービスを提供に努めております。また、当センターでは総合的な診療体制を生かし、医師を初めとする医療職種の前卒後研修に大きな力を注いでいます。2004年（平成16年）度から始まった新医師臨床研修制度に基づき、既に2百数十名の研修医が当センターでの研修を修了しました。当センターの臨床研修は、熱心な指導医と研修医の昼夜分かたぬ懸命の努力により、全国的にも高い評価を受けています。フランスの詩人ルイ・アラゴンが「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」と言ったように、ともに誠実を心に刻み、そして、夢を語り合える、当センターでは当初よりそのような研修を目指してまいりました。日々の研修、診療において得られた知識や技能だけでなく、多くの仲間、指導医あるいは患者さんとの出逢いや語りから、色々な事柄を学びとり、人間的にも成長してもらいたい、それがわれわれ指導医の最大の願いでもあります。

当センターの理念である、「先駆け」「地域」「教育」に則り、地域の皆さまから信頼され愛される病院、社会に貢献できる病院を目指し、職員一丸となって頑張つてまいります。今後とも、霜仁会会員の皆さまのご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。



まだないくすりを  
創るしごと。



明日は変えられる。



astellas  
アステラス製薬株式会社  
www.astellas.com/jp/

医書のことなら全てお任せ下さい。

- 常時 10,000 点の在庫。
- 便利な試覧制度と即日納品も可能なスピーディー宅配便。
- インターネットによる医学書の最新情報の提供と注文が可能。

《日本医書出版協会認定》  
《医学・看護学専門書店》

# 井上書店

宇部店 〒755-8566 宇部市南小串2丁目3番1号  
TEL (0836) 34-3424 FAX 34-3090  
e-mail : ube @ mm-inoue.co.jp

小倉店 〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1-20  
TEL (093) 533-5005 FAX 533-9789  
e-mail : kokura @ mm-inoue.co.jp

[ホームページアドレス]  
<http://www.mm-inoue.co.jp>



TERUMO

約 W78 x D40 x H19mm

えっ!これがポンプ?

日本初。チューブフリーのパッチ式インスリンポンプ。

**MEDISAFE WITH™**

一般的名称: ボータブルインスリン用輸液ポンプ 販売名: メディセーフワイズ 医療機器承認番号: 22900BZ000374

テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡豆2-44-1 www.terumo.co.jp

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。  
©テルモ株式会社 2020年7月

ご結婚・ご宿泊・会議・会食に

# 国際ホテル宇部

☎0120-375931  
山口県宇部市島1丁目7-1  
<http://www.kokusaihotel-ube.co.jp>

医療関連事業  
疾病の診断から治療までを担う

ニュートラシューティカルズ関連事業  
日々の健康維持・増進をサポートする

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する  
トータルヘルスケアカンパニーを目指します。

Otsuka-people creating new products  
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬

<https://www.otsuka.co.jp/>



イノベーションに情熱を。  
ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

山口大学医学部霜仁会の

# 会員総合補償制度

## 中途加入受付中!

中途加入の場合、毎月20日までにお申込みいただくと翌月の1日が補償の開始日となります。

団体割引が適用されるため、**保険料が割安**です!!



**産業医等活動保険にもご加入できます!**  
(勤務医師賠償責任保険任意オプション)

会員総合補償制度のおかげで安心して医療に従事できます

万一の医療事故を補償

**医師賠償責任保険**  
(勤務医向け)

団体割引 **20%**

地震や日常生活による**ケガ**・**携行品賠償責任**を補償

**傷害補償**

- ◆国内外、24時間、事故によるケガを補償します。(地震・噴火・これらによる津波によるケガも補償します。)
- ◆ケガ以外にも携行品の損壊など、様々なリスクを補償します。
- ◆年齢にかかわらず保険料は一律です。

団体割引 **5%**

働けなくなった時の**収入**を補償

**所得補償**

- ◆病気やケガで就業不能となった場合に、先生方の所得を補償します。
- ◆入院はもちろん、自宅療養もカバーできます。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ。)

所得補償、団体長期障害所得補償 どちらも加入することをおすすめします。

団体割引 **10%**

万一の**がん**・**病気**・**ケガ**を補償

**がん補償**

- ◆がんと診断確定されたとき、診断保険金が支払われます。
- ◆入院保険金は1日目から何日も補償されます。
- ◆手術保険金は何回でも補償されます。(手術の内容・種類によっては回数の制限があったり、お支払の対象とならない場合があります。)
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ。)

団体割引 **10%**

**医療補償**

- ◆病気だけでなくケガによる入院も補償されます。
- ◆入院保険金は入院1日目から補償されます。(限度日数あり。)
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ。)

長期間働けなくなった時の**収入**を補償

**団体長期障害所得補償**

- ◆病気やケガで就業障害となった場合に、先生方の所得を補償します。
- ◆長期にわたり(最長5年)生活費をお届けします。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ。)

団体割引 **10%**

突然**介護**が必要になった時に**保険金**をお支払

**介護補償**

- ◆公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた場合
- ◆東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用)と診断されその状態が90日を超えて継続した場合 いずれかの場合、保険金(一時金)をお支払いします。

団体割引 **10%**

詳細はパンフレットをご覧ください。この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険、団体生活総合保険の概要についてご紹介したものです。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡しする保険約款および協定書によります。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。尚、ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

申込書類・資料のご請求やお問い合わせはお電話もしくはメールで下記取扱代理店までお願い致します。

<p><b>お問合せ先・取扱代理店</b></p> <p><b>株式会社パイオニア</b> (平日)午前9時～午後5時</p> <p>〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-16 小泉第2ビル3階</p> <p>TEL : 0120-010-938 FAX : 0120-921-051</p> <p>http://www.pioneeritd.com yamadai@pioneeritd.com</p>	<p><b>引受保険会社</b></p> <p><b>東京海上日動火災保険株式会社</b></p> <p>(担当課) 医療・福祉法人部 TEL : 03-3515-4143</p> <p>&lt;募集番号&gt;:20-TC08805 2021年2月作成</p>
---	---

**マングローブの森づくり。それは、豊かな地球を未来に届けること。**

マングローブ植林は「地球の未来にかける保険」です。これからも、ともに未来へ。

**マングローブ価値共創100年宣言**

**東京海上日動**

医療・福祉法人部  
東京都千代田区三番町6-4 〒102-8014  
お問い合わせ先(TEL):03-3515-4143 www.tokiomarine-nichido.co.jp

*To Be a Good Company*





### Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。  
より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社  
www.takeda.com/jp




**ANA  
CROWNE PLAZA®**  
AN IHG® HOTEL  
UBE

ANAクラウンプラザホテル宇部  
〒755-8588 山口県宇部市相生町 8-1 Tel:0836-32-1112 (代)

印刷を企画から  
在庫管理・発送まで **一括サポート!**  
まずはお気軽にご相談ください。

**瞬報社オフリン印刷株式会社** [本社] 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2410番地  
TEL 083-972-5678 FAX 083-973-1912  
[営業所] 広島・下関物流センター

## 病理組織・細胞診検査 動物実験研究用病理標本作製



### 地域医療に貢献し、共に発展する検査センター

登録No.100号の登録衛生検査所として病理検査部門の検査を行っています。各種臓器の生検、手術標本はもちろんのこと、研究用試料も扱っています。また、細胞診検査においても各種検体を扱っています。

### 責任が持てる標本作り

最新の設備を導入し、それらの機器は常に管理され、運用されています。ステップ毎に管理された行程は、日々の仕事を円滑にし、精度の高い検査情報として提供致しております。

### すばやい対応・迅速・正確

持ちこまれた検査物は大事なお客様です。検査別、材料別に適した処理を迅速に行います。受付から結果報告まで一貫したシステムで対応しております。

### 標本が教科書

細胞診では毎日の業務の積み重ねがよりよい結果をもたらします。より豊富なコメントと診断精度の向上に日夜努力しております。

**検査項目**

- 細胞診：婦人科
- 細胞診：一般（呼吸器・泌尿器・体腔液・その他）
- 病理組織診断：各種臓器の病理組織検査  
特殊染色（免疫染色法を含む）  
ER、PgR、HER2染色法
- 研究用病理組織標本作製  
※詳細は検査案内書参照

**結果報告**

- 受け取りから結果報告まで  
細胞診：2～3日  
病理組織診断：3～4日  
（脱灰脱脂や特殊染色が必要な場合は多少時間がかかります）  
※お急ぎの場合はその都度対応いたします

組織、細胞診検査の集配業務行っております。

各種依頼用紙、試料瓶などはご一報頂ければお届けします。新規の医療機関でもお電話頂ければすぐに伺います。

※詳細は検査案内書を参照してください。検査料金は当センターの検査料金規定によります。

## (社)霜仁会検査センター

〒755-0046 宇部市南小串1丁目2-11 霜仁会医学交流会館2F  
TEL 0836-31-7510 FAX 0836-31-7590

# ニューフェイス

## 初期臨床研修を終えて

山口大学医学部附属病院 第二内科

内田 正 宗

私は山口大学を卒業後、患に対応できる医師になり、宇部興産中央病院で初期臨床研修をさせていただきました。在学中より様々な疾患、病院を選択しました。様々な



左から2番目が内田

宇部興産中央病院

<https://ube-hp.or.jp/>

な診療科で研修をさせていただき、将来の専門研修を見据え、山口大学医学部附属病院での研修も組み込ませていただきました。患者さんの背景に合わせて医療を提供される指導医の先生方の元で研修を行う中で、自身の将来の医師像についても改めて考えることができました。病気を治療することも重要ですが、患者さんが病気と上手に付き合っ生活できる方法をチームで考えられる医師になりたいと強く感じております。

今年度より、山口大学医学部器官病態内科学講座(旧・第二内科)に入局させていただきました。循環器内科をはじめ、腎臓病、膠原病、そして呼吸器疾患の診療にも携わらせていただいております。様々な患者さんがおり、慢性疾患との付き合い方について、日々難しさを感じております。今後も地元である山口県の医療に貢献できますよう、修練を積んで参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## 初期臨床研修を終えて

山口大学医学部附属病院 第二外科

金城 尚 樹

私は山口大学医学部を卒業後、関門医療センターで初期臨床研修を行いました。学生の時より消化器外科の道に進むことを決めておりましたので、研修中は逆に外科診療に必要と思われる他科の研修も意識して行いました。その事はとても勉強になると共にとても楽しい研修でした。例えば、研修期間のほとんどを関門医療センターで行っていたこともあり、様々な科のドクターやコメディカルの方の顔を覚えていただいていたので、外科以外でも自分が興味がある疾患や手技がある時は、その科を回って見学、そして時に一緒に手技を行わせていただきました。

また、関門医療センターの特徴としては、他大学出身の研修医が多いという点が挙げられます。同期は13人いましたが、その中で山口大学出身の研修医は私を合わせて3人のみでした。他の研修医は九州大学や産業医科大学、福岡大学など

様々な大学出身者がおり、他大学の人と交流を通じて良い刺激を受けることができました。

今年度より、山口大学医学部消化器腫瘍外科に入局いたしました。至らないことばかりですが、少しでも山口県の外科診療、がん診療の向上に貢献できるように研鑽していきたいと思っております。

関門医療センター  
<https://kannon.hosp.go.jp>



後列左が金城



# ジエネシス

## 本年度の医学祭に関して

第76回医学祭実行委員会委員長

医学科 四年 瀬戸口 貴昭



本年度の第76回医学祭実行委員会委員長を務めさせていただきました。医学科4年の瀬戸口貴昭と申します。本年度の医学祭に關しましてご報告させていただきます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延に伴って、医学祭の開催を中止せざるを得ない状況でした。そのため、昨年度から本年度にかけては対面形式での実施を目指して準備して参りました。しかしながら、今年度に入っても全国的な感染拡大は収まる気配がなく、山口県内での感染者数も多い時期が何度もありました。医学祭を実施するか否かの判断は準備の関係から夏頃にしなければならなかったこと、夏頃はワ

本来であれば昨年度から医学祭は山口大学医学部と同日開催となる予定であり、それに伴って医学祭もよりアカデミックなものにしてはどうかという篠田学部長からの御提案をいただいていた。今年作成いたしましたパンフレットは、保護者の皆様を含めた学外の方々にも、医学部の学生生活をより把握いただければと考えながら作成致しました。まだまだ不十分な点もあるかとは思いますが、次年度以降の医学祭の足掛かりになればと思います。

本年度も中止の決定をしたことで、2年連続の医学祭の中止という、恐らく未だかつてない事態となりました。2年連続で何もしないことは今後の医学祭の運営や存続にも影響しかねると考え、本年度行う予定でした第76回医学祭はパンフレットのみを作成する書面開催とさせていただきますこととなりました。



# クラブ紹介

## 剣道部

医学科 三年 平川裕基

初めまして。現在、山口大学医学部剣道部の主将を務めさせていただいております。医学科3年の平川裕基です。クラブ紹介という貴重な機会を頂いたので、剣道部の代表としてこの場でご挨拶させていただきます。

剣道部は現在、5年生6人、4年生2人、3年生3人、2年生3人、1年生7人の計21人で活動しています。1年生は今年の6月に入部し、初心者の子が4人も剣道を始めてくれました。練習日は月曜、水曜、金曜の週3回で、山口大学医学部体育館で練習を行っています。

練習は、武道においてもっとも重んじられる礼から始まります。始めに黙想をすることで心を落ち着けることができ、その後の稽古に集中して取り組むことができます。礼を行った後は、怪我防止のためにストレッチを行い、その後、素振り練習、足さばきの練習に入ります。それらが終わ

コロナ禍によりこれらの大会は中止になってしまったので、久々の大会で良い結果を出し、日頃お世話になっている顧問の鶴田先生やOBOGの先生方に明るい報告ができるよう、部員一同稽古に励んでいます。

活動としては、練習の他にも、様々なイベントを行っています。春にはお花見、夏には海辺でBBQなど、季節に合わせた催しを楽しんでいます。今年はお花を催すことは叶わなかったのですが、コロナ禍も落ち着いてきたこともあり、来年度は多くのイベントを開くことができると思います。

末筆ではございますが、部員一同、より一層稽古に励んでいく所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

(写真はP12に掲載)



剣道部

# ご逝去を悼む

## 平川弘泰君を偲ぶ

又吉康俊

(昭和47年卒)



令和3年9月9日、畏友平川弘泰君が亡くなった。享年75歳。病名は前立腺癌骨転移。この5年間三日にあげず、ラインを交わしてきただけに今年7月からの途絶えは、心中穏やかでない日々となっていた。更に、8月初めにご長女(眼科医)から体調悪化によりメールや電話が不能になった旨の連絡を受け、懸念が深まった。平川君は岡山県生まれで、高校は県立岡山朝日高校である。大学在学中、彼はバドミントン部で、私はボート部であったため、付き合っただけは全く記憶にない。おそらく遊び(麻雀、ビリヤード等)であったろう。卒業後彼は、岡山大学

第一内科に入局し、島田宜浩先生に師事し、肝臓研究への道に進んだ。'81年、島田先生が鳥根医科大学の第二内科初代教授になられた時、誘われるまま同時に赴任したと聞く。同年に岡山大学での肝疾患研究で学位を授与され、まもなく講師へと昇進した。'93年、恩師との共著「肝臓の腹腔鏡検査―見方と臨床応用」を上梓している。'91年から興生総合病院副院長として勤務した後、'95年、福山市に平川内科医院を開業し、以後26年間地域医療に貢献した。彼の趣味は多彩で、釣り(特に山陰でのイカ釣り)、ゴルフ、ボウリング(医師会場の西日本大会にも毎年出場)、陶芸、干し柿作り、料理、筍掘り、読書(漢詩含む)、将棋(唯一の共通趣味)で、ゴルフと将棋以外は玄人肌である。彼とは意外と共通項が多い。お互

業であること、ほぼ同じ時期に胃癌手術や白内障手術を受けたこと、運転免許証更新時に緑内障による視野狭窄を指摘され、あたふたしたこと等々。彼と共にあちこちに行ったが、銀座の歌舞伎見物、京都の祇園又吉での食事、福岡の藤井聡太出場JT杯観戦などが記憶に新しい。最後に彼と会ったのは19年2月(首里城火災焼失の8カ月前)の沖縄で、那覇公設市場において種々の食材を実に楽しそうに時間をかけて見て回っていたのが印象的だった。最後の1年は、下肢の痛みに耐えながら短期間に医院を売却し、かかりつけ医として来院患者の希望を聞き、それぞれに新たな医師を探し、多くの診療情報提供書を書き上げて閉院した。見事なまでの収束である。棺を蓋いて事定まる。合掌。

- 業であること、ほぼ同じ時期に胃癌手術や白内障手術を受けたこと、運転免許証更新時に緑内障による視野狭窄を指摘され、あたふたしたこと等々。彼と共にあちこちに行ったが、銀座の歌舞伎見物、京都の祇園又吉での食事、福岡の藤井聡太出場JT杯観戦などが記憶に新しい。最後に彼と会ったのは19年2月(首里城火災焼失の8カ月前)の沖縄で、那覇公設市場において種々の食材を実に楽しそうに時間をかけて見て回っていたのが印象的だった。最後の1年は、下肢の痛みに耐えながら短期間に医院を売却し、かかりつけ医として来院患者の希望を聞き、それぞれに新たな医師を探し、多くの診療情報提供書を書き上げて閉院した。見事なまでの収束である。棺を蓋いて事定まる。合掌。
- 採野浩志先生(昭25年卒) 令和2年逝去  
平川弘泰先生(昭47年卒) 令和3年9月9日逝去  
坂本喜彦先生(昭62年卒) 令和3年10月5日逝去  
大村良介先生(昭58年卒) 令和3年10月7日逝去  
豊島博幸先生(昭51年卒) 令和3年10月13日逝去  
松田泰雄先生(昭45年卒) 令和3年10月19日逝去  
田中信宏先生(平11年卒) 令和3年10月25日逝去  
有山重美先生(昭48年卒) 令和3年10月26日逝去  
勝山嘉久先生(昭33年卒) 令和3年10月29日逝去  
小川省吾先生(昭25年卒) 令和3年11月26日逝去  
ご冥福をお祈りいたします。



ご冥福をお祈りいたします。

### 編集後記

新型コロナウイルスのパンデミック発生から早2年。次々変異株が出現する一方で、我々は抗体薬・ワクチン・内服薬などの対処方法を獲得し、ユニバーサルマスクと3密回避の有効性もわかってきました。コロナと賢く共存し、クラス会報告が、再び会報に戻ってくる日を待ち望んでいます。(奥屋 茂)

### 訃報